

予想項目の説明

競馬道GT2で予想理論を作成する際には、130種類の予想項目が使用できます。各予想項目の内容は次の通りです。

競走馬	
斤量評価	出走馬の登録斤量によるタイム評価
着順評価	出走馬の指定レース数の着順評価
競走馬競馬場実績	出走馬の当該競馬場での実績
距離適性	出走馬の指定距離での着順評価
競走馬連対率	過去の全レースの連対率評価
競走馬勝率	過去の全レースの評価
競走馬距離連対率	過去の全レースの指定距離範囲での連対率評価
競走馬距離勝率	過去の全レースの指定距離範囲での勝率評価
競走馬馬場適性	推定馬場での実績
競走馬コース適性	出走馬の芝もしくはダート実績
血統（種牡馬総合実績）	指定期間の産駒の着順評価
枠順実績	出走馬の当該レースの枠順（内、中、外）での実績評価
頭数実績	出走馬の当該レースの頭数（少頭数、中頭数、多頭数）での実績評価
競走馬格評価	出走馬の格の評価
競走馬季節実績	出走馬の当該レースの季節（春、夏、秋、冬）での実績評価
競走馬騎手実績	出走馬の当該レースの騎手の実績評価
競走馬3着内率	過去の全レースの3着内率評価
競走馬距離3着内率	過去の全レースの指定距離範囲での3着内率評価
競走馬実績	該当馬の実績評価（1着数）
競走馬実績（新）	実績評価（着順平均）
競走馬開催実績	競走馬の指定開催での実績評価
競走馬開催実績（新）	競走馬の指定開催での実績評価（着順平均）
競走馬レース実績	指定距離範囲の同コースでの1、2、3着評価
競走馬レース実績（新）	指定距離範囲の同競馬場・同コースでの実績評価（着順平均）
競走馬コース実績	該当競馬場・コースでの競走馬の勝率
競走馬コース実績（新）	該当競馬場・コースでの競走馬の実績評価（着順平均）
競走馬コース勝率	該当コースでの競走馬の勝率評価
競走馬コース連対率	該当コースでの競走馬の連対率評価
競走馬コース3着内率	該当コースでの競走馬の3着内率評価
穴馬期待度	競走馬の穴馬期待度
競走馬2着率	過去の全レースの2着率評価
競走馬距離2着率	過去の全レースの指定距離範囲での2着率評価
競走馬3着率	過去の全レースの3着率評価
競走馬距離3着率	過去の全レースの指定距離範囲での3着率評価
直結指数	出走馬の直結指数評価（指数は2004年7月18日までのデータ）
競走馬クラス勝率	同クラスレースの勝率評価
競走馬クラス連対率	同クラスレースの連対率評価
競走馬クラス3着内率	同クラスレースの3着内率評価
展開指数	出走馬の展開指数評価（1992年1月1日～2003年12月31日のデータ）

騎手

騎手実績	指定期間の関東・関西総合の評価（1着数）
騎手実績（新）	指定期間の関東・関西総合の評価（着順平均）
騎手連対率	指定期間の連対率評価
騎手勝率	指定期間の勝率評価
騎手距離連対率	指定期間の指定距離範囲での連対率評価
騎手距離勝率	指定期間の指定距離範囲での勝率評価
騎手レース実績	指定期間、指定距離範囲の該当競馬場およびコースでの1着評価
騎手レース実績（新）	指定期間、指定距離範囲の該当競馬場およびコースでの実績評価（着順平均）
騎手3着内率	指定期間の3着内率評価
騎手距離3着内率	指定期間の指定距離範囲での3着内率評価
騎手季節実績	騎手の当該レースの季節（春、夏、秋、冬）での実績評価
騎手開催実績	騎手の指定開催での着順評価
騎手開催実績（新）	騎手の指定開催での実績評価（着順平均）
騎手枠順実績	騎手の当該レースの枠順（内、中、外）での実績評価
騎手頭数実績	騎手の当該レースの頭数（少頭数、中頭数、多頭数）での実績評価
騎手競馬場実績	騎手の当該競馬場での実績（同競馬場での着順平均を評価）
騎手馬場適性	騎手の推定馬場での実績
騎手距離適性	騎手の指定距離での着順評価
騎手着順評価	騎手の指定レース数の着順評価
騎手トレーナー実績	騎手の当該レースのトレーナーの実績評価
騎手トレーナー実績（新）	騎手の当該レースのトレーナーの実績評価（着順平均）
騎手コース実績	指定期間の当該競馬場とコースでの騎手の勝率
騎手コース実績（新）	指定期間の当該競馬場・コースでの騎手の実績評価（着順平均）
騎手コース適性	騎手の芝もしくはダート実績
騎手コース勝率	指定期間の当該競馬場とコースでの騎手の勝率評価
騎手コース連対率	指定期間の当該競馬場とコースでの騎手の連対率評価
騎手コース3着内率	指定期間の当該競馬場とコースでの騎手の3着内率評価
騎手2着率	指定期間の2着率評価
騎手距離2着率	指定期間の指定距離範囲での2着率評価
騎手3着率	指定期間の3着率評価
騎手距離3着率	指定期間の指定距離範囲での3着率評価
騎手クラス実績	指定期間の同クラスレースにおける関東・関西総合の評価（1着数）
騎手クラス実績（新）	指定期間の同クラスレースにおける関東・関西総合の評価（着順平均）
騎手クラス連対率	指定期間・同クラスレースの連対率評価
騎手クラス勝率	指定期間・同クラスレースの勝率評価
騎手クラス3着内率	指定期間・同クラスレースの3着内率評価
騎手クラス2着率	指定期間・同クラスレースの2着率評価
騎手クラス3着率	指定期間・同クラスレースの3着率評価

厩舎

トレーナー連対率	指定期間の連対率評価
トレーナー実績	指定期間の関東・関西総合の評価
トレーナー3着内率	指定期間の3着内率評価
トレーナー勝率	指定期間の勝率評価
トレーナー季節実績	トレーナーの当該レースの季節（春、夏、秋、冬）での実績評価
トレーナー開催実績	トレーナーの指定開催での着順評価
トレーナー開催実績（新）	トレーナーの指定開催での実績評価（着順平均）
トレーナーレース実績	指定期間、指定距離範囲の該当競馬場およびコースでの1、2、3着評価
トレーナーレース実績（新）	指定期間、指定距離範囲の該当競馬場およびコースでの実績評価（着順評価）
トレーナー距離実績	指定期間の指定距離範囲でのトレーナーの勝率
トレーナー距離実績（新）	指定期間の指定距離範囲でのトレーナーの実績（着順平均）
トレーナー競馬場実績	トレーナーの当該競馬場での実績評価
トレーナー距離適性	トレーナーの指定距離での着順評価
トレーナーコース実績	指定期間の当該競馬場とコースでのトレーナーの勝率
トレーナーコース実績（新）	指定期間の当該競馬場・コースでのトレーナーの実績評価（着順平均）
トレーナー2着率	指定期間の2着率評価
トレーナー3着率	指定期間の3着率評価
トレーナークラス実績	指定期間の同クラスレースにおける関東・関西総合の評価（1着数）
トレーナークラス実績（新）	指定期間の同クラスレースにおける関東・関西総合の評価（着順平均）
トレーナークラス連対率	指定期間・同クラスレースの連対率評価
トレーナークラス勝率	指定期間・同クラスレースの勝率評価
トレーナークラス3着内率	指定期間・同クラスレースの3着内率評価
トレーナークラス2着率	指定期間・同クラスレースの2着率評価
トレーナークラス3着率	指定期間・同クラスレースの3着率評価

種牡馬

種牡馬距離実績	指定期間の指定距離範囲での産駒の勝率
種牡馬距離実績（新）	指定期間の指定距離範囲での産駒の実績評価（着順平均）
種牡馬コース実績	指定期間の同競馬場・同コースでの産駒の勝率
種牡馬コース実績（新）	指定期間の同競馬場・同コースでの産駒の実績評価（着順平均）
種牡馬季節実績	種牡馬産駒の当該レースの季節（春、夏、秋、冬）での実績評価
種牡馬開催実績	種牡馬産駒の指定開催での1、2、3着評価
種牡馬開催実績（新）	種牡馬産駒の指定開催での実績評価（着順平均）
種牡馬レース実績	指定期間、指定距離範囲の同競馬場・同コースでの1、2、3着評価
種牡馬レース実績（新）	指定期間、指定距離範囲の同競馬場・同コースでの実績評価（着順平均）
種牡馬競馬場実績	種牡馬の当該競馬場での実績評価
種牡馬距離適性	種牡馬の指定距離での着順評価
種牡馬馬場適性	設定された馬場状態における産駒の着順評価
種牡馬コース適性	産駒の芝もしくはダートでの着順評価
種牡馬クラス勝率	同クラスレースにおける産駒の勝率評価
種牡馬クラス連対率	同クラスレースにおける産駒の連対率評価
種牡馬クラス3着内率	同クラスレースにおける産駒の3着内率評価

タイム

平均タイム	出走馬の同距離でのタイム評価
最高タイム	出走馬の同距離での最高タイム評価
前半3F	出走馬の指定距離での前半3ハロンタイム評価
上がり3F	出走馬の指定距離での上がり3ハロンタイム評価
着差タイム	出走馬の指定距離での着差タイム評価

競馬ブックデータ

レコード指数	出走馬の指定レース数のレコード指数平均
予想印	当該レースの予想印の評価
予想オッズ	当該レースの予想オッズの評価
調教印	当該レースの各出走馬の調教印の評価
レイティング	出走馬の当該レースでのレイティングの評価

人気・オッズ

人気評価	出走馬の指定レース数の人気評価
オッズ評価	出走馬の指定距離範囲の指定レース数オッズ平均
コース出目	指定期間の当該競馬場およびコースでの馬番別1、2、3着評価

アドバイス

共通に使われる用語の詳しい内容については、以下を参考にしてください。

実績	: 着順平均	3着率評価	: 3着数 ÷ 出走数
勝率評価	: 1着数 ÷ 出走数	着順評価	: (出走頭数 ÷ 着順)の平均
連対率評価	: (1着数 + 2着数) ÷ 出走数	同コース	: 芝・ダート・障害別のコースを指します。
3着内率評価	: (1着数 + 2着数 + 3着数) ÷ 出走数	馬場	: 馬場状態(良・稍重・重・不良)を指します。
2着率評価	: 2着数 ÷ 出走数		

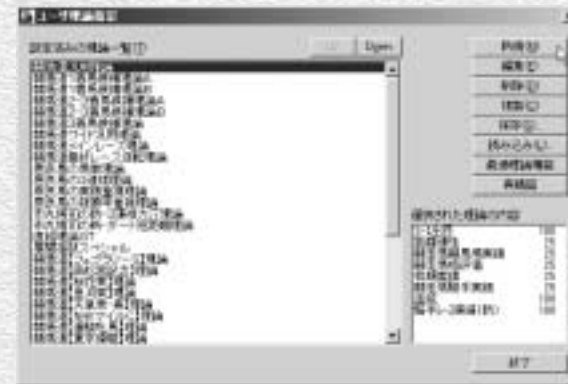
オリジナル予想理論を作る

競馬道GT2では、収録済みの予想理論を利用するだけでなく、ユーザがオリジナルの予想理論を作成できます。最大10個の予想項目を組み合わせられ、それぞれのウエイト(重視度)も調整することができます。

新規理論の作成と予想項目の設定

① オリジナルの予想理論の作成は、メインメニューの【予想】から【ユーザ理論の設定】で行ないます。既に設定されている理論の一覧が表示されますので、ここでは【新規】をクリックします。

また、新たに理論を作成するのではなく、既に設定されている理論をもとに予想をアレンジすることもできます。詳しくは次ページの「アドバイス」をご覧ください。



② 新規のユーザ理論作成画面です。まず、新しく作る理論の名称を決定します。この画面を開いた直後は、画面左上に「新規理論1」という仮の理論の名称が入力されていますので、作成したい理論の名称に書き換えてください。理論の名称は全角30文字まで入力できます。



③ 理論の名称を決定したら、予想項目の設定に入ります。まず、10項目ある予想項目の左端にあるボックスをチェックします。するとその右側にある【▼】のついたプルダウンメニューが操作可能な状態になりますので、予想理論に使う項目を選択します。

項目を選択すると、画面左下のボックスに、その項目についての説明が表示されますので、参考にしてください。



④ 続いて、予想項目のウエイト(重視度)を設定します。予想項目は最大で10項目設定できますが、このウエイトを調整することによって、それぞれの項目を予想に反映する度を決めることができます。

ウエイトの設定は、項目の右にある調整バーをマウスで左右にスライドさせるか、その隣にある数値ボックスに直接数値を入力します。



⑤ 次に、選択した項目の【集計対象距離】と【集計期間】を設定します。あまり対象距離や期間を広げ過ぎてもデータの信頼性が損なわれますし、狭すぎると該当する条件に出走(騎乗)した経験が少ない場合などはデータ不足になりますので注意が必要です。

なお、この【集計対象距離】や【集計期間】は、選択した予想項目によっては入力する必要がないものもあります。



⑥ ここまでと同様に、2つ目以降の予想項目についても設定していきます。画面右下には、設定された予想項目の比率が棒グラフで表示されますので参考にしてください。予想項目は最大10項目となっており、1つ以上設定してあれば理論として使用可能になります。

必要な項目すべての設定が終了したら、【保存】をクリックして、作成したユーザ理論を保存します。



アドバイス

収録理論をアレンジする

競馬道GT2の予想理論で利用できる予想項目は多岐にわたり、この組み合わせによって、様々な予想理論を作成することができます。しかし、新たに理論を作成する場合、選択した予想項目の種類やウエイトの調整具合によっては、その予想結果があまり芳しくないケースも考えられます。そこで、最初は既にある予想理論にアレンジを加えて利用してみるのもひとつの方法です。例えば【予想】 - 【ユーザ理論の設定】画面を開き、「競馬道汎用理論」を選択した状態で【複製】をクリックすると「コピー〜競馬道汎用理論」というものが作成されます。これを選択して【編集】をクリックすれば、作成した「コ



ピー〜競馬道汎用理論」の内容が表示され、各項目の調整ができるようになります。

⑦ 予想理論の作成が終了したら、設定済みの理論一覧に、作成した新しい理論が加わっていることを確認してください。理論名をマウスでクリックして選択すると、画面の下に選択した理論の内容が表示されます。

この状態で【編集】をクリックすると、作成した理論の内容を修正できます。また、不要になった理論は【削除】をクリックすると削除され、【Up】【Down】ボタンをクリックすれば、理論の表示順を入れ替えられます。



③ レース選択は【日時・競馬場】【開催】【重賞】の3つのカテゴリ検索で、何レースでも選ぶことができます。【距離・馬場】【年齢・クラス】【配当】【ベース・馬場状態】の各項目は、チェックボックスにチェックを入れた上で【詳細】ボタンをクリックして条件を設定してください。1つ、あるいは全部のタブで条件を設定し、それぞれのタブで【検索】をクリックすれば、条件に該当するレースが【結果】の欄に追加されます。日時、競馬場、開催ではレース名検索（テキストボックス）も可能です。「神無月S」などのレース名を入れると特別レースなどが検索できます。「神無月」など短い語句で検索したほうがヒット率は高くなります。



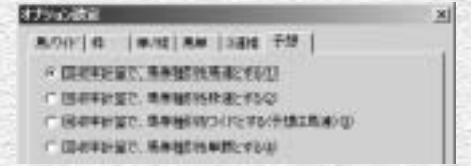
④ ここでは、天皇賞（秋）を例にして最適予想理論を構築してみます。【重賞】タブの中でG1の桜花賞を検索した画面です。インストール時に「最大」または「標準」を選択した場合は94年以降の10レースが表示されますが、ここでは仮に、過去5年分のデータで理論を構築することにします。 unnecessaryレースは【削除】で削除してください。レースの選択が終了したら、【適用】をクリックします。



⑤ 【適用】をクリックすると、【最適予想理論の構築】ウインドウに戻ります。ウインドウ下部に、適用したレース数が表示されますので確認してください。続いて【オプション】をクリックします。



⑥ 【オプション設定】では、最適予想理論を構築する際、的中率や回収率の計算に利用する買い目の数や馬券の種類を設定します。まず【予想】タブで馬券の種別を選択し、続いて馬券種別のタブ（【馬／ワイド】【枠】【単／複】【馬単】【3連複】）で、買い方を決定します。



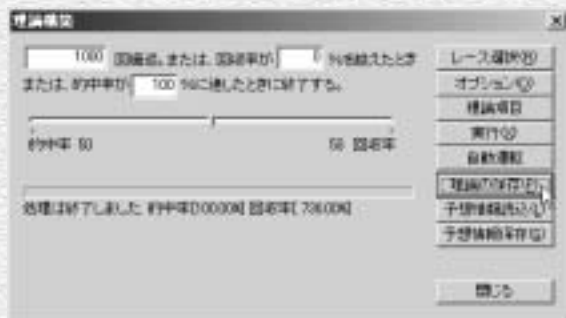
⑦ ⑥で【OK】をクリックして【最適予想理論の構築】ウインドウに戻り、続いて【理論項目】をクリックします。ここでは、最適予想理論の構築に用いない予想項目をチェックします。また「同一理論項目は理論に含めない」をチェックすると、10個の予想項目が重複しない理論を作成できます。



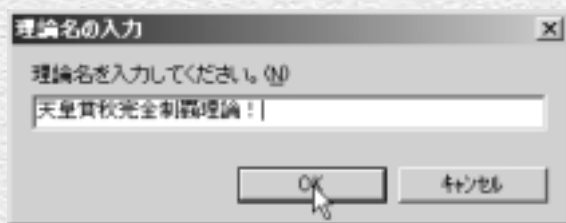
⑧ 理論作成の条件を設定します。自動作成された理論的中率や回収率が目標に達しなかった場合は、繰り返して複数の理論が作成され、目標を超える理論が作成できた時点で自動作成は終了します。目標を超えなかった場合は、指定された回数で終了します。なお、回収率を0%に設定すると、回収率は終了条件から除外されます。繰り返しの回数や的中率に0を設定した場合も同様です。設定が終了したら、【実行】ボタンをクリックしてください。最適理論の自動作成が開始されます。



⑨ 最適予想理論の作成中は、ウインドウ下部に進行状況とインジケータが表示されます。インジケータが消え、「処理は終了しました。」と表示されたら理論の作成は終了です。作成した理論的中率、回収率が表示されます。[理論の保存]をクリックして作成した理論を保存します。



⑩ [理論の保存] ボタンをクリックすると、理論の名称の入力を求められますので、わかりやすい名称をつけて保存してください。



⑪ 保存した理論は [ユーザ理論指定] 中の、[設定済みの理論一覧] に追加されます。これで、作成した理論を予想に活用できるようになります。



アドバイス

予想情報を保存する

一度ある条件を設定して最適予想理論を作成すると [予想情報保存] のボタンがアクティブになります。この [予想情報保存] ボタンは、理論構築の際に利用した計算結果をファイルに保存するために利用します。ここで保存しておいたファイルを読み込めば、同一計算のムダを省くことが可能です。計算が終了した時点で [予想情報保存] をクリックし、ファイルの保存先とファイル名を指定すれば計算結果が保存されます。再び同じ条件で計算をするときは、この画面で [予想情報読込] をクリックします。読み込むファイルを指定するウインドウが開きますので、ここで先に保存したファイルを指定すれば読み込みは完了です。なお、競馬道Proシリーズ、GTで作成した予想情報を読み込むことはできません。



最適理論の構築を自動運転 (同じ条件で理論を複数作成する)

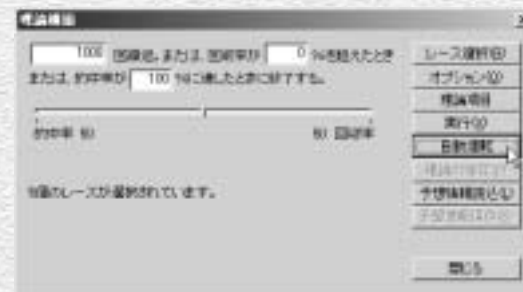
① 最適理論の構築は、自動で複数回行なうことも可能です。自動運転を行えば、同じ条件設定から複数の理論を作成し、ユーザがその中から適切な理論を選ぶことができるようになります。自動運転の手順は、途中までは予想理論の自動作成で説明したものと同様です。メインメニューの [予想] から [ユーザ理論の設定] で、[ユーザ理論指定] ウインドウを表示し、ここで [最適理論構築] ボタンをクリックします。



② [最適予想理論の構築] ウインドウが表示されたら、予想理論の自動作成のときと同様に、理論の構築に利用するレースを選択します。ここでは、前ページまでと同様に桜花賞の過去5年を対象にしていますが、東京芝1600メートルの全レースや、3歳以上のG I 戦を全て、といった選び方もできます。レースの選択が完了したら [理論項目] で理論作成に使用しない項目を設定します。



③ [重視度] は、自動運転中に変更する設定 (ランダム) にする場合 (次ページ手順④) は、ここでは変更しなくて構いません。自動運転中の重視度を固定する場合のみ、ここで重視度を設定してください。すべて終了したら [自動運転] ボタンをクリックします。



④ 自動運転の設定ウィンドウです。終了条件や重視度、理論保存の条件等を設定します。終了条件にある「繰り返し前にn秒間スリープ」の値は、同じような理論がいくつも作成されてしまう場合に変更してください。重視度は「ランダム」に設定するとランダムに変更され、「リニア」では比率を一定の割合で変化させます。[変更しない]の場合は、前ページの手順③で指定した値になります。設定が終了したら「実行」ボタンをクリックしてください。



⑤ 「自動運転」のウィンドウが閉じ、最適理論構築の自動運転が開始されます。下段のインジケータが右端まで到達したら、自動運転は終了です。手順④の設定に該当する条件の予想理論が、自動的に保存されます。



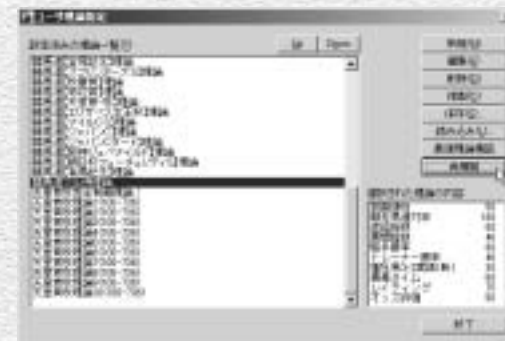
⑥ 自動運転で作成された予想理論です。理論の名前は、手順④で理論名に入力した文字に、番号、的中率、回収率を加えたものになります。画面で選択されている「天皇賞秋理論 1 (100-736)」は、手順④で入力した「天皇賞秋理論」の1番目で、的中率が100%、回収率が736%であることを示しています。ここで作成した予想理論は、他の理論同様に編集や複製が可能です。作成された理論を比較して、適切と思われるものを利用するといいでしょ



予想理論を作り直す (再構築)

① 理論の再構築とは、既に作成されている予想理論に、最新のレース結果を反映させて、理論を作り直すことです。ここでは先に手動で作成した「競馬道マル得理論」を再構築してみます。

メインメニューの「予想」から「ユーザ理論の設定」を選択します。「ユーザ理論指定」ウィンドウが表示されますので、再構築したい理論を選択して「再構築」ボタンをクリックします。再構築後は、新たに作成した理論がもともとなった理論に上書きされますので、必要に応じて「複製」しておくといいでしょ (→次ページ、アドバイス参照)。



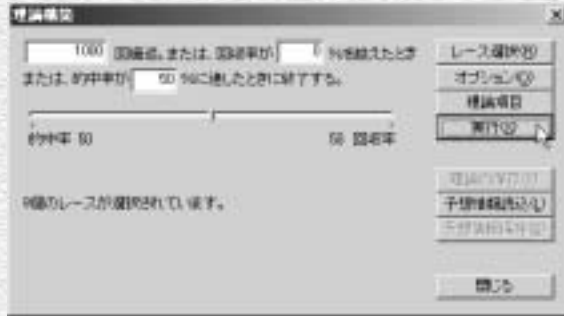
② 25ページから解説している「最適理論の構築」と同様に、理論構築の際に的中率、回収率を計算するレースを指定します。「レース選択」ボタンをクリックしてください。



③ 「レース群の選択」ウィンドウが表示されます。ここで選択したレース条件に合わせて、もとの理論項目を使った新しい理論を再構築します。



④ レースの選択が終了したら、的中率、回収率など理論作成の条件を設定し、[実行] をクリックします。なお、再構築では元になる理論に採用されている予想項目のみを利用します。元の理論にない予想項目も再構築に利用する場合は、[理論項目] ボタンをクリックして、利用したい予想項目のチェックを外してください。



⑤ 理論の作成が終了したら、[理論の保存] をクリックして、再構築した理論を保存してください。[保存されました。] という確認のダイアログが表示されれば再構築は終了です。[閉じる] をクリックして、[最適予想理論の構築] ウィンドウを閉じます。



※注意 10項目以下の理論項目で作成された予想理論を再構築した場合でも10項目を利用した予想理論が構築されます。これは最適理論構築も同様です。

アドバイス

コピーを利用して再構築する

理論の再構築を実行すると、もともになった理論は、新たに作成された理論で上書きされます。もとの理論を保存しておきたい場合は、[ユーザ理論指定] のウィンドウの [設定済みの理論一覧] ボックスで保存したい理論を選択し、[複製] ボタンをクリックします。「コピー～○○○○」という理論が作成されますので、そのコピーを利用して再構築を実行してください。



買い目と予想印のカスタマイズ

競馬道GT2の予想機能では、予想印だけではなく買い目も提示されます。この買い目や予想印はユーザの好みに応じて変更できます。

買い目と予想印の設定

① この画面は4ページで行なった [競馬道汎用理論] による予想結果ですが、理論による予想印は◎から×まで上位5頭についているのに対し、馬連や3連複などの買い目は上位4頭のボックスとなっています。この買い目の提示方法は、オプション設定から変更できます。

なお、3連単につきましては、買い目の設定は行なわず、「3連単らしくウィザード」を利用します（→7ページ）。



② 買い目の変更は、メインメニューにある [その他] から [オプション設定] を選択して行ないます。ここでは [馬/ワイド] のタブを選択して、馬連とワイドの買い目を軸馬から4点の流し買いに変更してみます。[買い方] の項目で [2)] の流し買いに変更し、ポイント1位の馬を軸に2位から4点流すように設定すれば完了です。[枠] [単/複] [馬単] [3連複] のタブでも同様の設定が可能です。なお、ここでは各馬のポイントによって流し買いや1点勝負にする「例外」設定もできます。



③ 買い目の設定を変更した後、再度同じレースを「競馬道汎用理論」で予想した画面です。馬連とワイドの買い目が本命馬を軸にした4点流しに変更されています。

買い目を変更した後の再予想は、予想結果を表示している状態で、メニューの「拡張コマンド」から「再予想」を選択しても行なえます。



この画面で買い目表示を変更すると、回収率計算における馬券種別も同時に変更されます。回収率計算についての詳細は「回収率計算」(→44ページ)をご覧ください。

④ 普段使っている競馬新聞等にあわせて、予想理論を利用した予想結果の予想印を変更することも可能です。予想印の変更は、メインメニューの「その他」から「オプション設定」を選択し、「予想印」タブから行ないます。

通常はポイント上位5頭までの馬に印が表示されますが、「その他」をチェックすれば6位から9位の馬に対しても、7種類の予想印の中から1つの印を選んで印を表示することが可能です。

枠	馬	理論	予想	馬名	総合	グラフ
4	4	◎	×	オースミコスモ	66.48	
7	10	○		メイショウバトラー	63.04	
5	6	▲	×	スティルインラブ	58.98	
6	9	△	○	ダンツジャッジ	56.39	
7	11	×	△	メイショウカイドウ	54.59	
8	12		×	ダイタクバートラム	52.94	

オプション設定

検索対象: 対象馬種別: 成績表示: 予想期間: PAT

馬種別: 枠: 馬別: 馬群: 距離: 予想

7D>9 2D>10 1D>▲ 4D>▲ 9D>▲
 7D>9 2D>10 2D>▲ 4D>▲ 9D>▲
 7D>9 2D>10 3D>▲ 4D>▲ 9D>▲

6位

6> [] 9> []

無し
 馬印
 馬印
 馬印
 馬印
 馬印

アドバイス

予想に地方や海外のレース結果を使用しない

予想するレースの条件や適用する理論によっては、地方競馬で好成績を残している種牡馬や騎手が高い評価を獲得し、その産駒や騎乗馬のポイントが極端に高くなる場合があります。「オプション設定」の「予想」タブで「中央競馬開催以外のレースは予想で使用しない」にチェックを入れると、地方競馬や海外競馬のレース結果が予想に反映されなくなりますので、レースや理論に応じて利用してください。

オプション設定

検索対象: 対象馬種別: 成績表示: 予想期間: PAT

馬種別: 枠: 馬別: 馬群: 距離: 予想

2004年以降: 馬群種別を考慮しない
 2004年以降: 馬群種別を考慮しない
 2004年以降: 馬群種別を考慮しない
 2004年以降: 馬群種別を考慮しない
 2004年以降: 馬群種別を考慮しない
 2004年以降: 馬群種別を考慮しない
 2004年以降: 馬群種別を考慮しない

中央競馬開催以外のレースは予想で使用しない

2004年以降: 馬群種別を考慮しない

フィルタをかける

「フィルタ」とは、理論による予想結果に特定の条件で「フィルタ」をかけ、予想の精度を一層向上する機能です。ここでは、その概要と設定について説明します。

フィルタの概要

枠	馬	理論	予想	馬名	総合	グラフ
4	4	◎	×	オースミコスモ	66.48	
7	10	○		メイショウバトラー	63.04	
5	6	▲	×	スティルインラブ	58.98	
6	9	△	○	ダンツジャッジ	56.39	
7	11	×	△	メイショウカイドウ	54.59	
8	12		×	ダイタクバートラム	52.94	



枠	馬	理論	予想	馬名	総合	グラフ
5	6	◎	×	スティルインラブ	58.98	
6	9	○	○	ダンツジャッジ	56.39	
7	11	▲	△	メイショウカイドウ	53.59	
8	12	△	×	ダイタクバートラム	52.94	
8	13	×	◎	ユートピア	52.92	
4	4		×	オースミコスモ	51.48	

「フィルタ」機能では、「休養明け」や「初芝・初ダート」「降級」などといった要素によって、予想理論から算出された各馬のポイントを増減します。画面は2004年の北九州記念を予想した例で、フィルタ適用前は休養明けだったオースミコスモが本命でしたが、適用後は無印になっています。

フィルタの項目

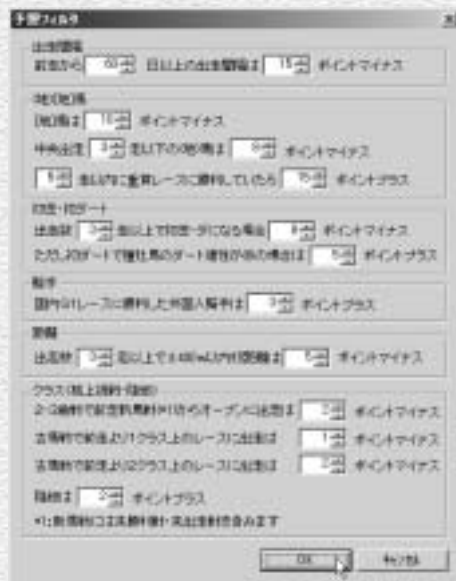
「予想フィルタ」機能では、「出走間隔」[◎・罫馬]「初芝・初ダート」[騎手]「距離」[クラス]の6項目の設定が可能です。設定内容の詳細は36ページ手順②をご覧ください。

なお、「予想フィルタ」は「予想」の他に「一括予想」機能(→40ページ)や「最適理論構築」機能(→25ページ)「回収率計算」(44ページ)にも適用できます(→37ページ、アドバイス)。

フィルタの設定と適用



① まず「フィルタ」の設定内容を確認します。メインメニューの「予想」から「予想フィルタの編集」をクリックします。



② 「予想フィルタ」ダイアログが表示されますので、個々の項目を必要に応じて調整してください。フィルタを適用しない項目については「0ポイントマイナス（プラス）」に設定してください。すべての設定が終了したら「OK」をクリックします。



③ 続いて、メインメニューの「予想」から、通常の手順と同様に予想を行ないます。

アドバイス

クラス（格上挑戦・降級）

【クラス（格上挑戦・降級）】の項目は、出走馬の前走と今回のクラスを比較してポイントを増減するものです。そのため、「降級」にはクラス編成替えによる降級馬の他に、前走が格上挑戦だった馬も含まれます。

④ 予想結果が表示されましたら、メインメニューの「拡張コマンド」から「フィルタの適用」をクリック、または拡張ボックスの「フィルタ適用」ボタンをクリックしてください。フィルタの設定に応じて、ポイントとグラフが増減されます。



⑤ フィルタが適用されると、拡張ボックスの「フィルタ適用」ボタンが押された状態になります。このボタンをもう一度クリックするか、メニューの「拡張コマンド」で「フィルタの適用」のチェックを外せば、フィルタは解除されます。



アドバイス

「理論構築」「回収率計算」にフィルタを適用する

「一括予想」(→40ページ)や「理論構築」(→25ページ)、「回収率計算」(→44ページ)にフィルタを適用することもできます。常にフィルタを利用する場合や、回収率計算の結果を参考にフィルタの設定値を調整したい場合は、それぞれのオプション設定で「回収率計算でフィルタを使用する」にチェックを入れてください。「一括予想」「理論構築」「回収率計算」の【オプション設定】は共通ではありませんのでご注意ください。



穴馬チェッカー

競馬道GT2には「予想理論」を用いた予想機能のほかに、予想を手助けする「穴馬チェッカー」機能が搭載されています。穴馬チェッカーを利用すると、指定した条件に合致する穴馬を簡単に見つけられます。

穴馬チェッカーの表示

①「穴馬チェッカー」によるチェック結果は出馬表に表示されます。メインメニューの「出馬表」から、穴馬チェッカーを利用したいレースの出馬表を開き、「穴馬チェッカー」タブを選択します。

出馬表																																							
2回小倉8日目11R 小倉日経オープン																																							
2004年 8月 8日 3歳上OPEN (混)(指定) 別定 芝右A 12C																																							
ペース	H	推定タイム	良 1.06.8																																				
レコード	1.06.5	アグネスワールド																																					
JRAレコード	1.06.5	アグネスワールド																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>基本情報</th> <th>血統</th> <th>脚質</th> <th>穴馬チェッカー</th> <th>着順履歴</th> </tr> <tr> <th>枠</th> <th>馬</th> <th>予想</th> <th>B</th> <th>馬名</th> <th>性齢</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>▲</td> <td></td> <td>マイネルジャパン</td> <td>牡6</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>ラムセスロード</td> <td>牡6</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>3</td> <td></td> <td>B [地]</td> <td>トーヨーデヘア</td> <td>牡7</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td>(父)スウィートエルフ</td> <td>牝5</td> </tr> </tbody> </table>					基本情報	血統	脚質	穴馬チェッカー	着順履歴	枠	馬	予想	B	馬名	性齢	1	1	▲		マイネルジャパン	牡6	2	2			ラムセスロード	牡6	3	3		B [地]	トーヨーデヘア	牡7	4	4			(父)スウィートエルフ	牝5
基本情報	血統	脚質	穴馬チェッカー	着順履歴																																			
枠	馬	予想	B	馬名	性齢																																		
1	1	▲		マイネルジャパン	牡6																																		
2	2			ラムセスロード	牡6																																		
3	3		B [地]	トーヨーデヘア	牡7																																		
4	4			(父)スウィートエルフ	牝5																																		

②画面右に「穴馬チェッカー」による7つの項目が表示され、各項目で指定した条件に合致する馬には [○] 印が表示されます。[○] 印を表示する条件設定については次ページをご覧ください。

穴馬チェック項目の設定

①メインメニューの「チェック・メモ」から「穴馬チェックデータの設定」を選択すると、「穴馬チェック項目の設定」ダイアログが開きます。



②「穴馬チェッカー」は、まず出走馬を「条件1」によってチェックし（人気による穴馬選定）、条件に合致した馬のみ「条件2」のチェックを行ないます。右の設定例では、1～3番人気、および12番人気以下の馬については「条件2」に合致しても前ページ②のチェック項目に [○] 印は表示されません。なお、「条件1」のチェックには競馬道OnLineの「予想オッズ」データ、もしくはIPATオッズデータを利用します。



アドバイス

想定出馬表の「穴馬チェッカー」

「穴馬チェッカー」は通常の出馬表のほかに、「想定出馬表」(→ 58ページ)からも利用できます。ただし、ユーザが作成した想

定出馬表には「予想オッズ」データがないため、「条件1」によるチェックが省略されますのでご注意ください。

複数のレースを一括予想する

複数のレースをまとめて予想する機能が「一括予想」です。それぞれのレースに別の予想理論を適用することができるほか、複数の日にまたがった予想も可能なため、通常の馬券検討の際だけではなく、作成した予想理論の検証にも便利な機能です。

予想するレースの選択

① 一括予想は通常の予想と同様に、予想したい日の「出馬表+競走馬」データが必要になりますので、予想を行なう前にあらかじめダウンロードし、競馬道GT2に登録しておいてください。
メインメニューの「予想」から「一括予想」を選択すると、「レース一括予想」のウィンドウが表示されます。はじめて一括予想をする場合は、ここで「オプション」の設定を行ないます。



② 「オプション」の「馬/ワイド」タブをクリックして買い目の設定をします。設定方法は33ページで解説したものと同じですが、通常の予想と一括予想では異なった設定を利用しますので、それぞれについてオプション設定を行なってください。予想結果に馬単や3連複などを利用する場合も、該当するタブをクリックして同様に買い目の設定を行ないます。また「メール送信」タブにある「結果の作成に詳細形式を使用」をチェックしておく、と、詳細な予想結果が表示できます。



③ 「開催年」「開催日」「競馬場」「馬券の種類」「レース」を選び、適用する予想理論をチェックします。「選択したレースと理論を適用」ボタンをクリックし、画面下の「適用レース」欄に、該当するレースと馬券の種類、理論名が表示されれば1レース分の選択は完了です。
1レースに複数の理論を適用することもできます。



④ 同様に、予想したいレースを全て選択していきます。キーボードの「CTRL」キーまたは「SHIFT」キーを押しながらレース名をクリックすれば、複数のレースを選択することができます。選択できるレース数は任意ですが、レース数に比例して予想にかかる時間は長くなります。

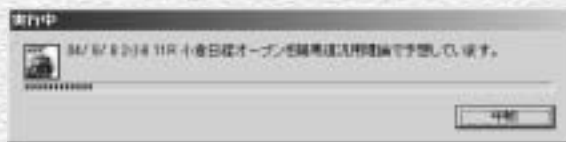


⑤ 予想するレースを選択し終わったら、画面でレースや適用する理論等に間違いがないことを確認します。もし間違っていたレースを変更してしまっていたり、適用する理論を変更したい場合は、適用レース欄の該当レース選択し、「削除」ボタンをクリックします。確認が終わったら「予想実行」ボタンをクリックしてください。



⑥ 予想処理が始まると、画面にインジケータで予想の進行状況が表示されます。

予想にかかる時間は、予想したレースや適用した予想理論、あるいはお使いのパソコンの性能等によって異なります。



⑦ 処理中のインジケータが消えれば予想は終了です。[結果表示] ボタンをクリックして、予想結果を確認してください。

この予想結果は、ファイルに保存したり、Eメールアドレスに送信することもできます。ファイルへの保存については下のアドバイスを、Eメールアドレスへの送信については次ページで解説していますので、そちらをご覧ください。



アドバイス

予想結果を保存する

一括予想で予想した結果は、テキスト形式で保存することができます。結果をその場で競馬新聞等に書き込んでもいいのですが、競馬道GTのみで予想している場合や、IPAT投票を利用している場合は、ファイルに保存しておけばパソコン上ですぐに予想結果が確認できるので便利です。後で理論の検証をする際にも役立ちます。ファイルへの保存は、予想結果を表示した手順⑦の画面で、[保存] ボタンをクリックして行ないます。保存先とファイル名を設定するウィンドウが開きますので、任意のフォルダとファイル名を指定してください。ファイル名には日付やレース名などを設定するとわかりやすいでしょう。保存したファイルの閲覧は、Windowsに標準で付属しているメモ帳等で行ないます。



予想結果をメールで送信する

競馬道GT2の一括予想では、予想結果をあらかじめ登録しておいたメール送信先に手軽に送信することができます。Eメールの受信が可能な携帯電話に送信しておけば、競馬場等の外出先でも予想結果を確認できます。

送信先の設定方法

① 予想結果の送信先の指定は40ページ手順①の画面 [レース一括予想] の [オプション] から行ないます。[メール送信] タブを開き、メールアドレスと、送信に使う [SMTPサーバ名] を入力すれば、最低限の設定は終了です。以下の項目については、利用する環境等に適した設定を行なってください。[アドレス] 欄にメールアドレスをカンマで区切って入力すれば、複数のアドレスに結果を送信できます。



② 通常の手順同様に一括予想を行ないます。予想が終了したら、[送信] ボタンをクリックすれば、登録した送信先にメールが送信されます。手順①の画面で [上記のメールアドレスに予想終了後結果を送信] にチェックを入れておけば、この作業をしなくても予想終了と同時に結果がメールで送信されます。



③ メールを受信結果です。画面の例ではオプション設定で [詳細形式] をチェックして送信していますが、携帯電話の小さな画面なら、通常の形式で送信した方が読みやすいでしょう。通常の形式では馬名、性齢、斤量などの詳細情報が省略された内容（前ページ手順⑦の画面と同様）が送信されます。

※ 予想印のDTは競馬ブック予想陣による予想印（東：松本憲二、西：中野秀幸）、R1・R2・R3…は予想理論の印を表します。

